

会 議 議 事 録

1 会議名	令和2年度第3回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和2年8月7日(金)午前10時30分から正午まで
3 開催場所	オンライン会議
4 出席者名	<p>(委員) 中村委員長 草間委員 並木委員 槇委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 白崎経営企画室主幹 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長 公立大学法人長岡造形大学 二澤財務課係長</p> <p>(事務局) 長岡市政策企画課 大矢課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 廣瀬係長 長岡市政策企画課 吉原主任</p>
5 欠席者名	山崎委員
6 議事	<p>(1) 令和元年度業務実績に関する評価書(案)について</p> <p>(2) 第1期中期目標期間業務実績に関する評価書(案)について</p> <p>(3) 各事業年度の業務実績評価(年度評価)実施要領(案)について</p>
7 審議結果の概要	<p>議事(1)は評価書案の修正を行い、委員の確認を得て決定することとされた。議事(2)及び(3)は案のとおり承認された。</p> <p>【補足】</p>

	議事（１）について、委員会終了後、事務局で修正案を作成し各委員に確認を依頼した。その結果、修正案のとおり評価書を決定することで承認を得た。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。これより、令和２年度第３回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに大矢政策企画課長よりご挨拶申し上げます。
事務局・政策企画課課長	（課長挨拶）
事務局・政策企画課課長補佐	本日の評価委員会は、山崎委員が都合によりご欠席となっておりますが、委員５名のうち４名が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第５条第３項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の水流理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長からご出席いただいております。 それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、よろしくお願いたします。
委員長	それでは議事に入りたいと思います。今日の議事は３件です。 では、議事（１）令和元年度業務実績に関する評価書案について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局・政策企画課課長	（資料１－１～資料１－３、資料４により説明）
委員長	ありがとうございました。 第２回審議の皆様のご回答では、評価書案を了承することや今後への期待が表されていたと思います。ベースの考え方は私も同じですが、資料１－２にある私からの意見について取り上げていただけるということで、皆様からご検討をいただきたいと思います。お願いたします。 資料１－２にあるように、大項目は全部で８区分あり、総合的には大部分がＡ評定で、２つがＢ評定となっております。その根拠は、右側の細目（事業単位評価）を踏まえているという説明になります。

	<p>特に「大学の教育研究等の質の質向上」の4つの大項目では、細目でb評価が多い項目でも、s評価があったりa評価がいくつかあること、指標単位ではa評価を得ていることで、外部の人から見てもA評価という評価は了解されるのではないかと思いました。「業務運営の改善及び効率化」及び「その他業務運営」は細目は全てb評価で、大項目評価はB評価となっています。</p> <p>その中で「財務内容の改善」はa評価が1項目、b評価が7項目です。a評価が1つでもあればよいという考え方に立てばA評価とすることもできると思いますが、「大学の教育研究等の質の向上」の4項目や「自己点検・評価及び情報公開の推進」と比べると、A評価とする根拠が薄いように感じます。</p> <p>資料（過去に配布されたもの）を見ると、公立化後は高い志願倍率を維持していることがわかります。令和2年度で5.6倍という倍率を実現していることをもって事業単位をa評価とすること、そしてこの点が「財務内容の改善」において重要なポイントであると主張することに関する皆様の考えを伺えればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>(補足説明)</p> <p>志願倍率ですが、平成31年度の志願倍率は5.1、平成30年度が4.7、平成29年度が5.5、平成28年度が4.5で、公立化後は4倍強又は5倍を超えています。それ以前は1倍又は1を少し超えている状況でした。</p>
委員	<p>事業単位でb評価が多くても大項目でA評価とすることに違和感がありました。しかし、事務局において達成できているものをb評価とし、上回るa評価があれば総合でA評価としているものと捉え、A評価は妥当であると判断しました。</p>
委員	<p>数だけ見ると、なぜ大項目がA評価になるのか外部の方も疑問に感じるだろうと思いました。b評価の中にも限りなくa評価に近いものもあると思いますし、今までの取組を見るとステップアップしていることもわかるので、A評価に値する部分もあると思いますが、やはり少し引かかるような気がします。</p>
委員	<p>「財務内容の改善」は事業単位と大項目の整合性が良くわかりませんでした。ただ、今回a評価の項目は他の項目と比較して比重が大きい、志願倍率、学生数というのは経営的に大きな意味を持つので他の</p>

<p>委員長</p>	<p>項目より重きを置いている項目であるということで、事務局で特筆すべき点として捉え、A評定としたものと判断しました。</p> <p>単純に数の問題でなく、項目間の重要度の違いが反映されるべきとも思います。財務という観点では、志願倍率は入学者数に関連し収入につながるものと思いますが、それが「財務内容の改善」において重要であると皆さんの合意をいただければ、このままで良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>項目間の比重の違いの設定が無く曖昧なので、数だけかぞえるとしっくりこないのが正直なところです。ただ、そのバランスをとるのは難しいので、総合的に判断をするということになるのかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>公立化後の志願倍率は高い水準ですが、令和元年度が特別に高い倍率であったわけではありません。AとBの線引きは明確にできないものですが、その中で、公立化後の志願倍率が上昇しそれを維持している、その努力を評価して事業単位をa評定とし、さらに、それは大学経営の重要な部分であるために財務内容の改善につながっていると見れば、A評定とすることもできます。</p> <p>評価の理由について、外部から見たときに、そうした点を重視したことがわかるように追記していただけるとよいかと思います。委員の皆様、それでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。では、全体の評価は変えないこととし、事務局で修正を加え、皆様の確認をいただいたうえで、市長へ報告を行うよう進めていただければと思います。</p> <p>それでは、議事（2）第1期中期目標期間の業務実績に関する評価書案について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料2-1～資料2-3、資料4により説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。皆様からご意見等あればお願いします。</p> <p>第2回審議で、皆様からは、事務局案を了承することと、これまでの成果を今後につなげてほしいという意見がありました。</p> <p>感染症に係る問題は今後も続く可能性があり、グローバルな問題に</p>

委員	<p>なっている中で、単に学生への対応ではなく大学の存立の意義がそれに結び付くところがあるのか、という点にも触れています。このような修正でご了解いただければと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>異議なし</p>
委員長	<p>第1期中期目標期間の業務実績に関する評価書については、事務局の修正案を承認することとします。</p> <p>それでは、3番目の議事、各事業年度の業務実績評価実施要領について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>(資料3により説明)</p>
委員長	<p>文面の改定で、より曖昧さや矛盾が無いようにするという趣旨であろうと思います。</p>
委員	<p>わかりやすいと思いましたので、改定案の方が良いかと思いました。ただ、事業単位で100%をどのように判定するのか難しいところです。</p>
委員	<p>現行よりも改定案の方が、曖昧さは減少していると思います。</p>
委員	<p>改定案の方が、よろしいかと思います。</p>
委員長	<p>全体として100%という指標自体をどう考えるかという課題が残りますが、基準はわかりやすくなったと思います。指標単位で、100%でも概ね実施となることに違和感がありますが、カテゴリーの問題で、80%~100%を概ね実施とするということで、許容範囲かと思います。委員の皆様も、この改定案でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>ありがとうございました。これで、議事は終了になります。</p> <p>ここで、大学から水流理事長、馬場学長からコメントをいただければと思います。また、ほかの方でも補足等あればお願いいたします。</p> <p>(水流理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長 コメント)</p>

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これで議事全体を終了します。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長、ありがとうございました。</p> <p>続いて、3その他としまして、事務局からご連絡いたします。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>長時間にわたりありがとうございました。令和元年度の評価書は、修正し、改めて確認をさせていただきます。また、決定した評価書は、法律に基づき、市長へ報告するとともに、議会へ報告します。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>他に、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>これで令和2年度第3回長岡市公立大学法人評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">委 員</p> <p style="text-align: center;">委 員</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1-1 令和元年度業務実績に関する評価書（案） ○ 資料1-2 令和元年度業務実績に関する評価（事務局案）に対する意見 ○ 資料1-3 令和元年度業務実績に関する評価（事務局案）の修正箇所について ○ 資料2-1 第1期中期目標期間業務実績に関する評価書（案） ○ 資料2-2 第1期中期目標期間業務実績に関する評価書（事務局案）に対する意見 ○ 資料2-3 第1期中期目標期間業務実績に関する評価書（事務局案）の修正箇所について ○ 資料3 各事業年度の業務実績評価（年度評価）実施要領（案） ○ 資料4 意見書 	